

# 広報 からすもい



2024.3.15 発行

編集・発行 烏森住区住民会議広報部  
目黒区上目黒3-44-2 ☎3719-0594



子ども太鼓



おとな太鼓



からす☆バザール



宝蔵院流槍術

肉まんとフランクフルトを販売しました。感染予防対策として手袋をつけたり、肉まんを調理の場を分けたりして行いました。久しぶりだったので、忘れてしまった事も多くバタバタでしたが、何とか完売することができました。ご購入いただいた皆様、ありがとうございました！

青少年育成部長 一見 貴重

**地域のつながりを**  
烏森住区住民会議  
会長 自見 信也

四年ぶりの住区まつりは、参加団体の皆様のご協力により、地域の皆様に大勢お集りいただき、楽しいお祭りとなりました。改めて継続することの大切さを痛感いたしました。

長かったコロナ感染拡大により、人と人との接触が制限され、人間関係の希薄化が進んだ中、今年発生した自然災害で、地域のつながりの重要性の大切さが再確認されております。

住区まつりのスローガンであります、「つなげよう、広げよう地域の輪」を大切に、今後も継続した住区活動を進めていきたいと思えます。

## 4年ぶりの烏森住区まつり 特集号

今年はどうしよう…と戸惑いながらも、4年振りに開催を決めた令和5年の烏森住区まつり『キラキラワールド』。実行委員会を6月に上げたものの、各参加団体にも前回の担当がいなくてノウハウがない…など、『ホントにやるんですか?』ムードのなか、当日が近づくにつれて、だんだん熱を帯びてきて、これはやれるかな…という気運に。

とはいえ当日は、テント張りに苦戦したりで時間から5分遅れてのスタート。そんな中、児童館や学童保育クラブは子どもたちが企画から頑張り、PTAのブースも工夫を凝らし、無料配布の苗木はあっという間になくなり、福島からの産直野菜は好評で、有志のバザーも行い、来場の皆さんからは、はじける笑顔と『久しぶりに開催してくれて、ありがとう』の声をたくさんいただきました。4年間のブランクは大きかったですが、反省材料はたくさん揃いましたので、次回はだいぶ楽になるはず…継続することの大切さ、一堂に会することの意義と醍醐味を実感した1日でした。皆さま、ご協力ありがとうございました。

実行委員長（地域活動部長）長沢 美南子



肉まん、フランクフルト



体育館 ミニバレー体験

スタッフが以前のことを思い出しながら準備をし、参加者を待っていると、あっという間に体育館が子どもたちで一杯になりました。友達と何人か来ていたので、プレーも楽しそうでした。一回退出してもまた戻ってくる子もいて、終わるころには上達していました。大人も子どもも一緒に楽しめるスポーツはいいなと改めて感じました。

スポーツ振興部長 神 幸江

### 「活気と元気のある学校に」

烏森小学校 校長 丸山 智子

日頃より子どもたちを見守っていただきありがとうございます。今年度は、学校行事にも地域の皆様をお招きできるようになりました。昨年12月には台湾の羅東国民小學の児童と烏森小との交流会も実現し、学校に活気が戻ってきました。

### 小中学校では今…



小学校に台湾の方がいらっしゃいました

小学校の菜の花



サッカー小中合同練習



クリスマスローズ

### 「からすもり 103号によせて」

東山中学校 校長 西田 友幸

烏森住区の皆様には、日頃より東山中学生在が安心安全に生活できるよう、また健やかに成長できるよう、見守り活動等にご協力頂き感謝申し上げます。

令和5年度は、烏森サッカークラブと連携した活動に取り組んできました。令和6年度も「つなげよう心ひろげよう地域の輪」というキャッチフレーズで実施される烏森住区の様々な取組に地域の一人として貢献できますよう努めていきたいと思えます。

結びに、烏森住区まつりの際に頂戴したクリスマスローズは、校庭の花壇で元気に育っています。

## ファミリーコンサート12月17日(日) 烏森小学校体育館

ピアニストの吉兼加奈子様、フルートオーケストラの「ベルソナ」様をお迎えし、素敵な演奏を聴かせていただきました。

バッハの「主よ、人の望みの喜びよ」はクリスマスに聴きたい曲でした。

「きらきら星変奏曲」をあんなにきれいな音で弾いてくださって、心が洗われるようでした。

いろいろな大きさと、いろいろな音のフルートがあってびっくりしました。



ピアノ演奏



フルート演奏

フルートのハーモニがきれいでした。最後の「ふるさと」や「烏森小学校の校歌」にジーンとききました。一緒に歌えて楽しかったです。

### 来年度からの施設管理について

総務部長 水口 紀勝

烏森住区センターの施設管理については、今まで烏森住区住民会議が行ってききましたが、令和6年4月より民間事業者に変更となります。

1階のレイアウトが少し変わりますが、窓口での対応は今までと変わりません。

どうぞよろしく願いいたします。



4年ぶりの住区まつり。地域の方がたくさん集まる嬉しい光景。当施設のパンも大盛況いただきました。他のお祭りとは違うのは、小学生のお客様が多いこと。小銭を持って、好きなパンを選んで買ってくれます。カレーパン、メロンパン、etc.100円玉、10円玉をこんなに使うのは久しぶり。途中、不足してしまい、ご協力いただきましたが、嬉しいお客様とのやりとりでした。来年はもっとたくさん小銭を用意して伺いますね。

かみよん工房 施設長 金子 真求



かみよん工房 パンと焼き菓子



ヨ-ヨ-ヨ

からすカフェ



4年ぶりの住区まつり・キラキラワールドの開催にご尽力いただいた皆様、ありがとうございました。PTAでもキラキラワールド実行委員会の方々を中心に頑張ってくださいました。4年間のブランクもあって分からないことも多く、大変だったことと思います。本当にお疲れさまでした。参加した子どもたちの楽しそうな様子、最高でした！来年も楽しみにしています。

烏森小学校 PTA 会長 日高 圭悟



サッカーキックターゲット

久しぶりに開催されたキラキラワールドに参加させていただき、ありがとうございました。

キックターゲットでは、チームの子どもたちにも手伝ってもらい、参加されたお子様と和気あいあいとした時間を過ごさせていただきました。また、遊びにきていたお子様の中には「一緒に手伝いたい」と言ってくれる子もいて、地域の子供たちが集える場所があることに改めて感謝いたします。“来年度もぜひ開催をお願いします！”

烏森サッカークラブ 代表 鈴木 誠

コロナもようやく収束に向かい、全ての活動が動き始めました。私たち花水木の会も、お茶席で皆様におもてなしができることに楽しんでいました。ところがメンバー全て70代…正座が辛い年齢となり、悩んだ末に立礼としてなら参加することができるということに。幸い、住区センター地下1階の第1、第2会議室を借りることができました。

結果的にテーブルとイスでのお手前は、作法も無理なく、お茶席を楽しみに参加して下さった子供さんたちや保護者の方々、一般の方々も気楽に参加していただくことができました。上品な和菓子の甘さと抹茶のほろ苦さとまるやかな甘みに舌鼓をうち、喜んでいただきました。今後もこのような形でお茶席が続けられれば幸いです。

表千家 花水木の会 島木 辰子



お茶席



左 スーパーボールすくい

烏森小学校同窓会は、住区まつりで毎年、町会の鉄板を借りて焼きそばを焼いており、そのいい匂いが校庭に漂って、お客様の列ができるほどでした。今年はコロナが収まってきているといっても、まだ戸外で調理したものを販売するのは心配だったので、「スーパーボールすくいと懐かし遊び、写真展示」に切り替えました。

子どもたちには好評で、たくさんのスーパーボールの中から気に入ったものをすくうのは楽しそうでした。また古い写真を懐かしそうに見る方、ケン玉やコマで久しぶりに遊んでみる方もいて、出会いの場、タイムワープできる場をつくってよかったなと思いました。同窓生ではないけれど手伝ってくれた方々がいたので、何とか運営できました。皆様、ありがとうございました。

烏森小学校同窓会長 澤 勝

右 スタッフで最後に記念写真



烏森児童館では、子どもたちが運営スタッフとなり、オープニングでの太鼓演奏、ゲームコーナー、子どもたちによるバンド演奏・ダンス・マジックなどのステージコーナーの運営に参加しました。

「何をやるか？」の相談から準備、練習など、ひと月かけてがんばってくれました！仲間と時にはもめながらも協力し合い、成功させた体験は、子ども時代のかけがえのない1ページとなったことでしょう。

来年も子どもたちが地域で育ち、活躍する場を広げていきたいと思います。

烏森住区センター児童館館長 島田 正一



おたまですくうゲーム

児童館ステージ



左 お化け屋敷入口

右 射的ゲーム



4年振りのキラキラワールド。学童に通う子どもたちのほとんどがどんなイベントか知らない中、がんばってイメージしながら、お客さんに楽しんでもらうゲームコーナーを1か月かけて準備しました。

当日はたくさんのお客さんを見て大驚き。大盛況に喜びながらも、1時間働けばなしの子どもたちは、イベントを終えると、「終わった〜！」「楽しかった〜！」と達成感を強く感じていました。お客さんのために思い、考え、実行すること、主体的に取り組んだことは、とても学びが多く、貴重な体験になったのではないかと思います。

烏森学童保育クラブ 施設長 渡辺 正行

4年ぶりの開催ということで、職員も子どもたちも初めての烏森住区まつりとなりました。子どもたちは1か月かけてお店を手作りしました。

当日は子どもたちが臨機応変に動き、店員をがんばったり、お客さんとして各ブースを楽しんだりしている様子が印象的でした。

烏森住区まつりを通して、子ども同士の絆が深まりました。

烏森第二学童保育クラブ 施設長 山岡 詩歩

射的ゲーム



モグラたたき